

生きる



【生きる】

谷川俊太郎詩／岡本よしろう絵

谷川俊太郎さんの「生きる」という詩が岡本よしろうさんの絵と組み合わせさり、絵本になった作品です。圧倒的な詩と、何気ない夏の情景を切り取ったどこか懐古的で美しい絵たちが「生きる」ということを身近に感じさせてくれます。(あぶた読書の家所蔵)

読書の家から

- あぶた読書の家** (☎ 76-2100)
[時間] 10時～16時20分 [休館日] 木曜日、祝日
- みずうみ読書の家** (☎ 75-4702)
[時間] 10時～15時 [休館日] 木曜日、祝日
- 洞爺総合センター図書室** (☎ 82-5111)
[時間] 9時～16時30分 [休館日] なし

新刊案内

■あぶた読書の家

- △一般▽▽下町ロケット
- △ヤタガラス(池井戸潤)▽それでも空は青い(荻原浩)
- △児童書▽▽おもちのきもち(かがくいひろし)▽おうさまがかえってくる100ぴょうまえ(柏原佳世子)▽ぬけちゃった(ステイブ・アントニー/せなあいこ訳)▽クマと森のピアノ(デイビッド・リッチフィールド/俵万智訳)▽おしりたんていプッおしりたんていがふたりいる!? (トロール)▽おはなしとさがしもの ムーミンとはじめての冬(パイヴィ・アレニウス/末延弘子訳)
- みずうみ読書の家
- △一般▽▽沈黙のパレード(東野圭吾)▽野の春 流転の海 第9部(宮本輝)▽最終標的 所轄魂(笹本稜平)▽宴の前(堂場瞬一)▽白いジオリマ(堂場瞬一)▽どんまい(重松清)
- △児童書▽▽どんぐりむらのぼうしやさん(なかやみわ)

●絵本の玉手箱 2月のおはなし会

- 日時 ①2月15日(金) 14時～15時30分 ②2月21日(木) 14時～15時、2月25日(月)、3月11日(月) 10時～11時30分
- 場所 ①あぶた読書の家②あぶた母と子の館
- 問合せ 佐藤 (☎ 76-2487)
- ピノキオの会 読み聞かせ
- 日時 3月5日(火) 14時30分～
- 場所 あぶた母と子の館
- 問合せ 松本 (☎ 76-2613)

■洞爺総合センター

- △一般▽▽火星に住むつもりかい?(伊坂幸太郎)▽ノルウェイの森△上・下▽(村上春樹)▽ごほんのきほん レシピを見ないで作れるようになりましょう。(有元葉子)
- △児童書▽▽よるのさかなやさん(穂高順也/山口マオ)▽おしっこちよっぴりもれたろう(ヨシタケシンスケ)▽りんごりんごりんごりんごりんご(安西水丸)▽ぼくがぼくであること(山中恒)

地域おこし協力隊



通信

vol.11

今月の
リポーター
細谷佳代子さん



私

が地域おこし協力隊として道の駅とうや湖に就任してからたったの3ヶ月。みんなからは「3年くらい居るような感じだね(笑)」と言われています。確かに大柄で存在感満載ではありますが、これまた地域に馴染んで活躍している証と、自己流のポジティブ変換で今年もいろいろな事に挑戦していきたいです。

切磋琢磨しながら、奇抜なアイデアでこの道の駅とうや湖を盛り上げていけたらと思います。

12月に新しく加入してくれた若い女性スタッフとベテラン軍団?と、いつも全面協力してくれるたくましい生産者の人たちとともに

今年も営業11年目。さまざまなお客様に感謝の気持ちを込めて、3月末の期間限定ですが、食事をしたお客様に(ホタテ汁を除く)コーヒーを1杯無料で提供しています。

また、食堂奥にはポップコーンマシンの用意していますので、自宅で作るのも良いですし、当店で出来たてを作っても楽しむこともできます。

この冬季に道の駅とうや湖に来店した際には、是非入り口にある小さななまこを覗いてみてください。とうやの小さな幸せがありますよ。



道の駅とうや湖のスタッフの皆さん